

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年6月7日(火) 11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 平成28年度YU-COE(山形大学先端的研究拠点)が決定しました
＜拠点事例紹介＞「ヘルスケア材料社会実装研究拠点」
2. 上山市の「第7次上山市振興計画」広報に学生が協力
3. 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」成果報告
4. 山形大学男女共同参画フェスタを開催します

お知らせ

1. 第5回学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」を開催します
2. 平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」に採択されました
3. 新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会の開催について
4. 中学生を対象に「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催します
(1)3Dプリンタで好きな形の3Dゼリーお菓子作り
(2)未来の光、有機ELを自分でつくる—有機エレクトロニクスを体感する—

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年6月21日(火)11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

学長定例記者会見(6月7日)発表者

1. 平成28年度YU-COE(山形大学先端的研究拠点)が決定しました

学長

<拠点事例紹介>「ヘルスケア材料社会実装研究拠点」

学術研究院 ののむら よしむね 野々村 美宗 准教授(大学院理工学研究科担当)

2. 上山市の「第7次上山市振興計画」広報に学生が協力

学術研究院 さいとう まなぶ 齋藤 学 准教授(地域教育文化学部担当)

学術研究院 しもだいら ひろゆき 下平 裕之 教授(人文学部担当)

学術研究院 むらまつ まこと 村松 真 准教授(東北創生研究所)

地域教育文化学部 造形芸術コース

あおやま せな 青山 星菜(3年)、よこくら 横倉 ゆうか(2年)

3. 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」成果報告

理事・副学長 あべ こうじ 阿部 宏慈(総務・広報担当)

学術研究院 きたがわ ただあき 北川 忠明教授(人文学部担当)

4. 山形大学男女共同参画フェスタを開催します

学術研究院 きむらまつこ 木村松子准教授(男女共同参画推進室)

平成28年6月7日
山形大学

平成28年度YU-COE（山形大学先端的研究拠点）が決定

山形大学では、国際的に通用する高い水準にある研究拠点や、研究成果が社会、地域に大きく貢献する研究拠点を重点的に支援するとともに、将来、そのような拠点となり得る研究グループを発掘し、育成することを目的として、独自にYU-COE（山形大学先端的研究拠点）形成支援を行っています。

平成28年度は、（S）に4件（継続4件）、（E）2件（継続2件）及び（C）13件（継続9件＋新規4件）の研究グループへの支援を決定しました（拠点一覧は別紙のとおり）。

【YU-COEの概要】

○拠点形成の目的

研究者の自由な発想において行われる研究の重要性を認識し、あらゆる分野の研究者がその能力を十分に発揮できる研究環境の整備に努める一方で、地域に根ざし世界をリードする大学として、国際的に通用する高い水準にあると認められる研究拠点については、重点的に支援するとともに、将来、そのような拠点となり得る学内の研究グループを発掘し、育成する。

○拠点の内容

研究グループを、次の3つのカテゴリーに分類し、支援する。

◇「YU-COE（S）」【S=Super】

大型の競争的研究資金を獲得するなど、外部からすでに拠点として認められている研究グループである「分子疫学、有機エレクトロニクス、総合スピノ科学、山形大学ナスカ研究所」の4拠点。

◇「YU-COE（E）」【E=Exploratory】

将来、国内外の先進的研究拠点となる可能性を有すると認められる研究グループ。

◇「YU-COE（C）」【C=Collaboration】

複数学部の共同研究体制の下で分野横断型の研究を行い、将来、国内外の先進的研究拠点となる可能性を有すると認められる研究グループ

（お問い合わせ）

企画部研究支援課 篠塚・高橋

電話：023-628-4845

平成28年度 YU-COE形成支援拠点一覧

平成 28 年 6 月 1 日
YU-COE 推 進 本 部 決 定

『YU-COE(S)』

研究拠点		整理番号	拠点リーダー 職・氏名		新規・継続	備考
1	総合スピン科学	S21-1	教授	岩田 高広	継続	
2	分子疫学	S21-2	プロジェクト教員 (特任教授)	嘉山 孝正	継続	
3	有機エレクトロニクス	S21-3	教授	飯塚 博	継続	
4	山形大学ナスカ研究所	S25-1	教授	坂井 正人	継続	
合 計		4拠点				

『YU-COE(E)』

研究拠点		整理番号	拠点リーダー 職・氏名		新規・継続	備考
1	次世代自動車用プラスチック素材加工研究拠点	E26-1	教授	伊藤 浩志	継続	
2	有機ICTシステム研究拠点 ～ヘルスケア／ライフケアシステムの実現に向けて	E26-2	准教授	横山 道央	継続	
合 計		2拠点				

『YU-COE(C)』

研究拠点		整理番号	拠点リーダー 職・氏名		新規・継続	備考
1	環境低負荷型グリーンポリマーの開発	C26-1	准教授	大谷 典正	継続	
2	先進的ライフサイエンス・イメージング研究拠点	C26-2	准教授	奥野 貴士	継続	
3	ゲノム編集技術を使った新規研究モデル動物のリソース化拠点の形成	C26-3	准教授	越智 陽城	継続	
4	新規の素材を用いた膵胆道ステントの開発拠点	C26-4	教授	上野 義之	継続	
5	放射光で切り拓く次世代地域創生研究拠点	C26-5	准教授	松葉 豪	継続	
6	人口減少社会適合型野生動物管理システム創成拠点	C26-6	准教授	江成 広斗	継続	
7	地域価値創成に貢献するUniversity Entrepreneurship研究拠点	C27-1	教授	山口 昌樹	継続	
8	予測医療を目指した医用画像・生体測定情報データ解析の研究拠点	C27-2	准教授	川崎 良	継続	
9	おいしい山形を届けるパッケージ材料研究拠点	C27-3	准教授	東原 知哉	継続	
10	重粒子線治療の高精度化を目指した医理連携研究拠点	C28-1	教授	根本 建二	新規	
11	先端フードテクノロジー研究開発拠点	C28-2	教授	西岡 昭博	新規	
12	ヘルスケア材料社会実装研究拠点	C28-3	准教授	野々村美宗	新規	
13	山形大学メディカル・モデラーズ・プラットフォーム先端研究拠点 (略称:LPIC-MMP)	C28-4	教授	古川 英光	新規	
合 計		13拠点				

平成28年6月7日
山形大学

平成28年度YU-COE（山形大学先端的研究拠点（C）） ヘルスケア材料社会実装研究拠点

山形大学で開発された新しい材料を利用してヘルスケア商品を開発し、世界に向けて発信する「ヘルスケア材料社会実装研究拠点」が山形大学先端的研究拠点（C）として採択されました。県内外の医薬品・化粧品・食品関連企業と連携して、年商100億円レベルの大型商品への展開を目指します。

【概要】

山形大学は全国有数の材料研究者の拠点として知られており、理・工・農学部では、日々、たくさんのユニークな材料が開発されています。しかし、食品・化粧品・医薬部外品などのヘルスケア商品市場では、ある材料に新たな機能が見出されても、商品に配合したときに機能を発揮できることや、味覚や触覚などの感性を通じてひとを楽しませることが示されなければ、実用化は難しいといわれています。そこで本研究拠点では、殺菌・抗菌・変異原性試験が可能な生理活性評価室と、食べ物の美味しさや化粧品の塗り心地・効果感を工学的な見地から評価する感性評価室を新たに設置し、開発された材料の機能や魅力を迅速に評価、ヘルスケア関連企業にアピールしていきます。さらに、その材料が採用された場合には、産学で連携して材料のさらなる改良と商品化検討を行い、より魅力的な商品に仕上げることで大型商品への展開を目指します。

【活動計画】

①拠点形成期(平成28年度)

生理活性評価室と感性評価室を米沢キャンパス内に設置します。特に感性機能評価室には、本プロジェクトで開発された世界に1台しかない触覚評価システムが整備されており、化粧品や医薬部外品、医療用機器関連企業の技術者の注目が集まることが期待されます。

②ヘルスケア材料探索期(平成29年度)

山形大学で開発されたヘルスケア材料を中心に、その機能評価を行います。将来は、県内関係企業が開発した材料にも評価対象を広げていきます。

③社会実装期(平成30～32年度)

食品・化粧品・医薬品関連企業と共同で商品開発研究に着手します。ヘルスケア材料を配合したプロト処方を調製、機能評価チームが評価を行った結果と企業の評価結果を合わせることで、迅速に商品化を進めていきます。

（お問い合わせ）

学術研究院 准教授 野々村美宗(大学院理工学研究科担当)
電話：0238-26-3164

学長定例記者会見 配布資料

ヘルスケア材料社会実装研究拠点

拠点の目的

山形大学で開発されたユニークな材料を利用してヘルスケア商品を開発、世界に向けて発信すること

わが国で最大規模の年商100億円レベルの大型商品に展開

拠点メンバー

拠点リーダー

野々村美宗

有機合成チーム

落合文吾

今野 博行

無機合成チーム

川井 貴裕

並河 英紀

機能評価チーム

西岡 昭博

矢野 成和

W. Suyotha

理・工・農学部 of 材料研究者に拡大

拠点のコンセプト

山形大学で開発された材料の機能と魅力を徹底的に評価、ヘルスケア関連企業にアピール＋実用化

山形大学ヘルスケア材料拠点

プロト処方開発

機能評価

ヘルスケア
材料配合



生理活性



感性機能



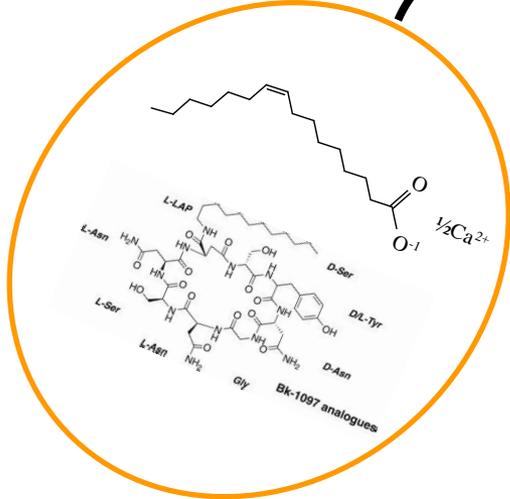
ヘルスケア
関連企業



市場



山形大学
生まれの材料



拠点形成期：生理活性評価室の立ち上げ

病原微生物を対象とした殺菌・抗菌・変異原性試験

迅速な材料評価＋商品開発→ヘルスケア企業にアピール!

国際事業化センター内BSL2実験室



- 平成27年度
- ・国際事業化センターに病原性微生物を取扱う専用実験室を開設
 - ・研究機器の整備
 - ・非病原性細菌を用い試験的に運用開始
 - ・学生に対するトレーニングを実施
- すでにスタート!

平成28年度

- ・評価試験開始。広く周知し材料の公募

評価試験



抗生物質の評価
ペーパーディスクアッセイ

抗カビ酵素の
生育阻害試験

取り扱い病原微生物の例(保有済)

黄色ブドウ球菌 大腸菌 カンジダ菌



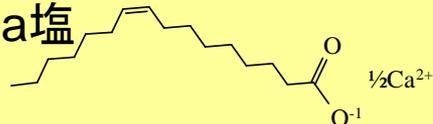
ヘルスケア材料探索期: 新規材料の機能評価

有機合成チームおよび無機合成チームが開発したヘルスケア材料を中心に機能評価

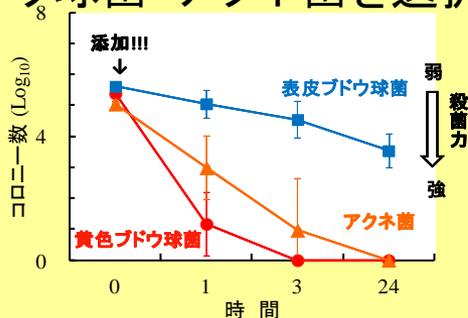
27年度より予備検討中

天然油脂由来の殺菌パウダー

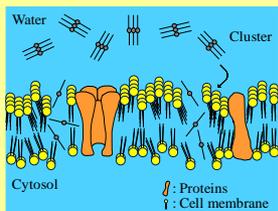
パルミトレイン酸Ca塩



黄色ブドウ球菌・アクネ菌を選択的に殺菌



メカニズム: 細胞膜破壊???

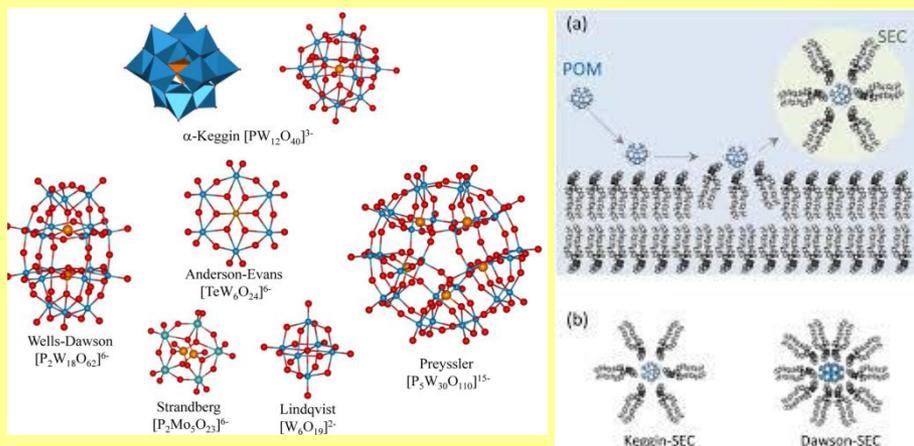


野々村

Y. Yamamoto *et al.*, *J. Oleo Sci.* **2015**, *64*, 283.

抗菌活性ナノクラスター

直径数nmの金属酸化物クラスター



ブドウ球菌、マイクロコッカス、エンテロコッカス等、グラム陽性細菌を選択的に殺菌!

M. Carraro, *Materials* **2014**, *7*, 3956.

H. Nabika *et al.*, *RSC Adv.*, **2013**, *3*, 21271.



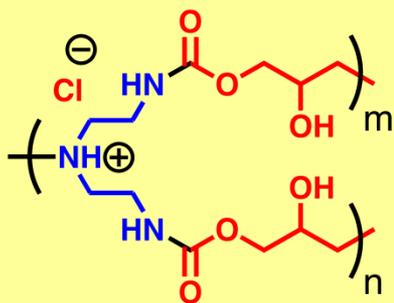
並河



今野

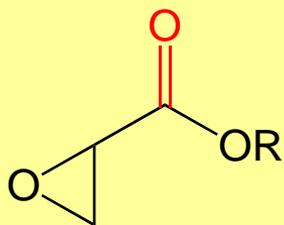
ヘルスケア材料探索期: 新規材料の機能評価

安全なドラッグデリバリー材料



血液適合性
+
抗菌性

生体親和性エポキシ



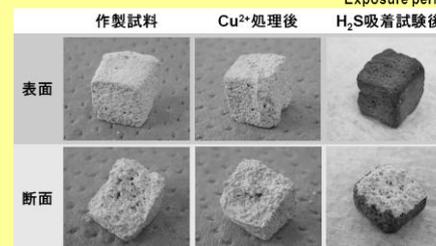
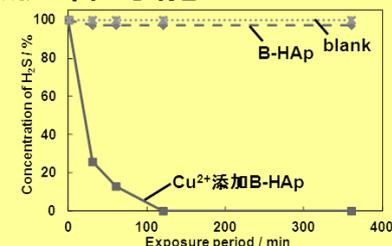
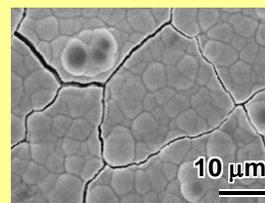
低変異原性と
高反応性を併せもつ
新規硬化剤
(ヘルスケア向け吸水
性樹脂への応用)

B. Ochiai et al., *J. Polym. Sci., A*
2012, 50, 47. B. Ochiai et al.,
Heterocycles, **2014**, 88, 487.



水酸アパタイトによる刺激臭成分の吸着

アンモニア、硫化水素、アルデヒド系
ガスを高効率に吸脱着可能!



ニーズに合わせたサイズ・
形状に容易に加工できる

T. Kawai, *Phosph. Lett.* **2013**, 77, 15.
T. Kawai, *Phosph. Lett.* **2014**, 80, 35.



国際拠点化と地域活性

国内外の研究者と積極的に交流

- ・業界のニーズとトレンドを察知
- ・山形大学発ヘルスケア材料の魅力をアピール

県内企業とのコラボレーション

- ・共同研究・学術指導を通して地域の活性化に貢献

平成28年6月7日
山形大学

上山市の「第7次上山市振興計画」広報に学生が協力

上山市のまちづくりの指針となる「第7次上山市振興計画」（平成28年度～平成35年度）を、市民の方々に分かりやすく伝え、理解していただくことを目的に、マンガを用いた同計画の「ダイジェスト版」を地域教育文化学部と人文学部の学生が協力して作成しました。

【背景】

・COC事業「地（知）の拠点整備事業」を推進するなかで、昨年10月に東北創生研究所が上山市より依頼を受けたもので、今年3月から、地域教育文化学部／造形芸術コースの学生（6人）と人文学部／下平ゼミ（20人）が各学部の専門性を生かしながら協力して「ダイジェスト版」（20頁）の作成にあたりました。

【概要】

・造形芸術コースの6人は、キャラクター（チェリーちゃん、フランくん、红柿ばあさん、ケン吉）の考案と計画内容に沿った各頁のコマ割りを担当。市内の視察で実際に触れた、歴史や温泉、おいしい果物にあふれた上山をモチーフに、温かみのあるデザインを心がけました。

・下平ゼミの20人は、主にキャラクターのセリフを担当。セリフを考える上で、分かりやすく、上山市の良さがうまく伝わるよう意識しながら発案しました。

・「ダイジェスト版」全体の編集が進み、間もなく完成する予定で、6月15日から上山市内の全戸（約1万1千500戸）に配布されます。

（お問い合わせ）

学術研究院 准教授 齋藤学（地域教育文化学部担当）

電話：023-628-4343



红柿ばあちゃん
上山一のご長寿。
上山市のことなら何でも知っている。



フランくん
生まれも育ちも
上山っ子の中学生。
红柿ばあちゃんの孫。



チェリーちゃん
上山に引っ越してきたばかりの都会っ子。



ケン吉
红柿ばあちゃんの謎の愛犬。

また来たくなるまち ずっと居たいまち
～クアオルト かみのやま～



ダイジェスト版

第7次上山市振興計画



上山市

平成28年6月7日
山形大学

山形大学安達峰一郎研究プロジェクト 研究成果報告

全国の国際政治・外交史及び国際法の研究者10名による安達峰一郎研究プロジェクトが最終年度を迎え、これまでの研究の成果を報告します。

山形が生んだ世界的な偉人、安達峰一郎博士の業績は、日本はもとより地元の山形でさえ、十分に知られてはならず、まだまだ正しい評価がされていませんでした。

本プロジェクトは、安達博士に光をあてて、その業績を学術的に正しく評価し、山形県民の誇りとしていただけるよう、平成24年11月に全国選りすぐりの研究者10名によるプロジェクトを立ち上げ、研究を進めてまいりました。

また、安達博士が生きた、明治から昭和初期の日本の置かれた国際環境、国際政治、外交について、安達博士を核にして研究を進めるためのコーディネーター的役割をつとめることで、山形大学の地域貢献の役割をも果たすことを目指しました。

このたび、それらの研究成果がひとつにまとまり、今年度末には東京大学出版会より上梓される予定となったことから、研究書の出版に先がけ、地元山形の皆様に、一線級の学者から見た安達博士の評価を分かりやすく解説し、討議するシンポジウムを開催します。

日時：平成28年7月2日（土）13時30分～16時45分（参加費：無料）

場所：ホテルメトロポリタン山形 出羽の間

（情報交換会 霞城の間 17時00分～18時00分 参加費：3,000円）

1. 研究内容

- ◆20世紀初頭より戦間期にかけての国際関係・国際政治及び国際法の展開についての、思想史をも視野に入れた総合的研究
- ◆常設国際司法裁判所の開設、国際連盟の開設に至る議論及びその後の運営等において、安達博士が果たした役割及び活動のバックボーンを成す彼の国際法理論についての研究

2. 研究メンバー

◆国政政治・外交史グループ

- | | | | |
|--------|---------|--------|-----------|
| ・井上 寿一 | 学習院大学長 | ・後藤 春美 | 東京大学教授 |
| ・篠原 初枝 | 早稲田大学教授 | ・黒田 俊郎 | 新潟県立大学教授 |
| ・牧野 雅彦 | 広島大学教授 | ・三牧 聖子 | 関西外国語大学助教 |

◆国際法グループ

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ・柳原 正治 | 放送大学教授 | ・植木 俊哉 | 東北大学教授 |
| ・明石 欽司 | 九州大学教授 | ・李 禎之 | 岡山大学教授 |

◆総括

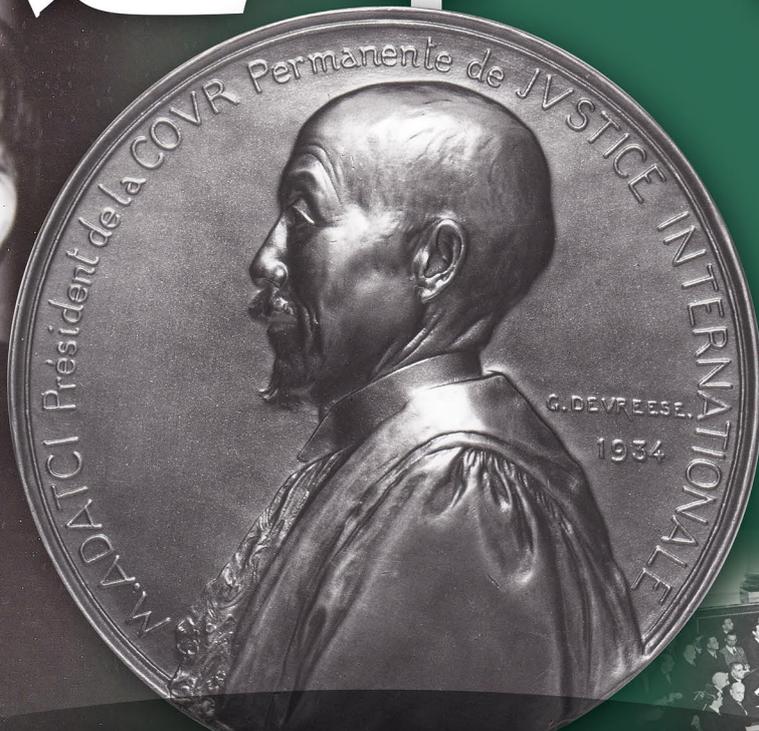
- | | | | |
|--------|----------|--------|--------|
| ・阿部 宏慈 | 山形大学理事 | ・北川 忠明 | 山形大学教授 |
| ・北野 通世 | 山形大学名誉教授 | | |

（お問合せ先）
総務部総務課総務担当
電話 023-628-4006

世界の良心

MINEICHIRO ADACHI

安達峰一郎



山形が生んだ世界的な偉人である安達峰一郎は、第一次世界大戦前後の複雑な国際情勢の中で、外交官として国際平和のために尽力し、国際社会において高く評価されました。晩年には国際司法裁判所長に選出され、「世界の良心」と称えられた安達峰一郎。未だ十分に知られていないその業績を、全国の国際政治・外交史、国際法の専門家により明らかにしていきます。

「山形大学 安達峰一郎 研究プロジェクト」 成果報告シンポジウム

13:00 受付開始
13:30 開会の挨拶
山形大学長 小山 清人
13:35 成果報告

① 「真の『国際人』安達峰一郎が追い求めたもの — その苦闘及び功績と現代的意義」

東北大学理事 植木 俊哉

② 「安達峰一郎と戦間期ヨーロッパ協調」

広島大学教授 牧野 雅彦

③ 「安達峰一郎に関する一次資料 — 海外における物を中心として—」

放送大学教授 柳原 正治

④ 「国際連盟における安達峰一郎」

早稲田大学教授 篠原 初枝

15:30 パネルディスカッション
(テーマ) 「戦間期国際秩序と安達峰一郎」
(ファシリテータ) 山形大学理事 阿部 宏慈
山形大学教授 北川 忠明

16:45 終了

17:00 情報交換会
18:00 終了

2016年7月2日(土)

ホテルメトロポリタン山形

【成果報告・パネルディスカッション】

3F 出羽の間 13:30~16:45

参加無料

【情報交換会】

4F 霞城の間 17:00~18:00

参加費:3,000円

※当日受付にてお支払いください。

【申込方法】 FAX・E-mailのいずれかでお申込み下さい。

【問合せ・申込先】

山形大学 総務部 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12
TEL : 023-628-4006 FAX : 023-628-4013
E-mail : somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【主催】山形大学

山形大学
Yamagata University

「山形大学 安達峰一郎 研究プロジェクト」成果報告シンポジウム 〈参加申込書〉

お申込みは、6月20日(月)までにFAX又はE-mail でお願ひします。

なお、E-mailの場合は、下記の全項目を入力の上、送信願ひます。

FAX 023-628-4013

E-mail somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

氏名	ふりがな	年齢		参加を希望するところへ <input checked="" type="checkbox"/> してください 成果報告シンポジウム <input type="checkbox"/> 情報交換会 <input type="checkbox"/>
住所(所属)		連絡先	電話	
			メール	
氏名	ふりがな	年齢		参加を希望するところへ <input checked="" type="checkbox"/> してください 成果報告シンポジウム <input type="checkbox"/> 情報交換会 <input type="checkbox"/>
住所(所属)		連絡先	電話	
			メール	
氏名	ふりがな	年齢		参加を希望するところへ <input checked="" type="checkbox"/> してください 成果報告シンポジウム <input type="checkbox"/> 情報交換会 <input type="checkbox"/>
住所(所属)		連絡先	電話	
			メール	
氏名	ふりがな	年齢		参加を希望するところへ <input checked="" type="checkbox"/> してください 成果報告シンポジウム <input type="checkbox"/> 情報交換会 <input type="checkbox"/>
住所(所属)		連絡先	電話	
			メール	
氏名	ふりがな	年齢		参加を希望するところへ <input checked="" type="checkbox"/> してください 成果報告シンポジウム <input type="checkbox"/> 情報交換会 <input type="checkbox"/>
住所(所属)		連絡先	電話	
			メール	

※個人情報 は本事業以外には使用しません。



会場

ホテルメトロポリタン山形

〒990-0039 山形県山形市香澄町1丁目1番1号
TEL : 023-628-1111(代)

フロントに駐車券をご提示下さい。
シンポジウム参加者の駐車料金は
5時間まで無料になります。

「ホテル立体駐車場」、「山形駅ビル駐車場」または
「山形駅西口駐車場」をお使い下さい。

平成28年6月7日
山形大学

山形大学男女共同参画フェスタを開催します

6月23日（木）～7月1日（金）、山形大学男女共同参画フェスタを開催し、男女共同参画意識の向上及びダイバーシティ環境の実現を図ります。毎年6月に開催される「男女共同参画週間」（内閣府）に合わせて企画したもので、ワーク・ライフ・バランスセミナー、パネル展、LGBTに関するフィルム上映会を行います。対象は、学生、教職員、一般の方々に、参加は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

1. ワーク・ライフ・バランスセミナー

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）の採択を受け、「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」をテーマに、山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学の3機関連携でダイバーシティ研究環境の実現に取り組んでいます。

この度、事業の一環として、この分野の第一人者であるシカゴ大学教授の山口一男氏を講師に迎え、ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催し、多くの組織にとって重要なワーク・ライフ・バランスを達成する実効性のある改革案について考えます。

日時：平成28年6月29日（水）15：10～17：00

場所：山形大学小白川キャンパス事務局第1会議室・各キャンパスTV会議室

内容：・ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）事業報告
・山口一男氏（シカゴ大学社会学教授、経済産業研究所客員研究員）講演
「ダイバーシティとワーク・ライフ・バランス 日本の課題」

申込：FAX、電話、メールでお申込みください。（託児は要予約6/20まで）

2. パネル展

多様な性の当事者たちによるメッセージを紹介し、誰もが自分らしく生きられる社会像を描く機会とすることを目的にパネル展示を行います。

期間：6/23（木）～7/1（金）平日10：00～16：30

場所：山形大学インフォメーションセンター（理学部1号館東側）

内容：・「山形大学の男女共同参画及び
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取組」
・「多様な性LGBTに関するパネル展示」

3. フィルム上映会

日時：6/27（月）16：20～18：30（託児は要予約6/20まで）

場所：山形大学小白川図書館1階シアタールーム（定員30人）

内容：作品①「ぼくらの未来」/飯塚花笑監督
作品②「レズビアン フリークスの誕生」/ヒノヒロコ制作
飯塚監督及びヒノ氏によるトークも予定されています。

お問合せ・申込み先：男女共同参画推進室

Tel：023-623-4937/4938/4939

Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



託児付き



ワーク・ライフ・バランス セミナー

~豊かな個性による価値の創出~

日時

2016年 6月29日(水)
 15:10~17:00

場所

山形大学小白川キャンパス
 事務局第1会議室

講師

山口一男氏



講師プロフィール

1991年~ シカゴ大学社会学科教授
 2003年~ 経済産業研究所客員研究員

著書

2009年『ワークライフバランス 実証と政策提言』
 日本経済新聞出版社など

演題

「ダイバーシティとワーク・ライフ・バランス 日本の課題」

対象

研究者、教職員、学生、企業の管理職
 一般市民

セミナー申込み締切：2016年6月20日(月)
 ※託児の申込み締切も同じ

お問合せ・申し込み先

国立大学法人山形大学男女共同参画推進室
 TEL023-628-4937/4939 FAX023-628-4014
 E-MAIL : y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



ワーク・ライフ・バランス セミナー

山形大学を代表機関とし、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学との連携による文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）の採択を受け、「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」をテーマに、ダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでいます。

本事業の一層の理解と活用促進を図ると共に、研究及び職場環境におけるダイバーシティ及びワーク・ライフ・バランス実現の重要性を理解し、誰もが能力を発揮できる職場にしていくため、ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催いたします。

講師には、経済産業研究所の客員研究員でもあるシカゴ大学教授の山口一男氏を招き、仕事と生活の調和＝ワーク・ライフ・バランスが達成できる社会はどのようにしたら実現できるのか？多様な人材が生み出すイノベーションの価値について、世界の先進事例から日本における課題とは何なのかについてご講演いただきます。

交通のご案内

山形大学小白川キャンパス

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL. 023-628-4006

- JR山形駅前から小白川キャンパスを約8分で結ぶ山形大学専用シャトルバス運行中
- JR山形駅前から県庁行きで山形南高校前（山大入口）下車、バス停より徒歩5分。
- JR山形駅前から徒歩（約20分）



申込締切: 2016年6月20日(月) 必着

参加申し込み書(このままFAXしてください) **FAX 023-628-4014**

連絡先等をご記入ください。 ※選択項目はレ点をご記入ください。

お名前			
ご住所	〒 -		
電話番号			
所属			
託児を希望する場合は、下記の項目もご記入ください。			
(ふりがな) お子様のお名前:	年齢:	歳	ヶ月
性別: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	アレルギー: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	アレルギーの種類	その他、注意事項

※ご記入いただいた個人情報は、厳密に管理し、他には一切使用いたしません。

お申し込みは、電話及びEメールでも受け付けます。

お問合せ
申し込みはコチラ！

国立大学法人山形大学男女共同参画推進室

TEL023-628-4937/4939 FAX023-628-4014 E-MAIL: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

男女共同参画フェスタより

パネル展

日時

6/23(木)~7/1(金)
平日 10:00~16:30

気軽に
お立ち寄
り下さい

場所

山形大学インフォメーションセンター

展示作品

1. レズビアン日記/ヒノヒロコ作



「2015年、神奈川県の子議会議員がSNS上で同性愛者は異常動物という発言をし、大きな話題となった。それを受け制作された本作品は、365日の日記作品である。

友達と海に行った日、彼女と行った温泉旅行、後輩に子供が生まれた日、レズビアンである作者自身のありのままの日常を丸裸で綴ったこの作品は、同性愛者は本当に異常動物なのかを問いかける大きな布石として、様々なメディアに注目された。

2. 多様な性に関する出品作品

/東北芸術工科大学LGBTサークルSTART作



「多様な性に関する東北で活動するグループによるイベント（東北レインボーSUMMER2015）の一作品」



男女共同参画フェスタより

フィルム上映会 開催!

日時

6/27 (月) 16:20~18:30



託児希望の方は6/20(月)迄にお申し込みください(申込は裏面参照)

場所

山形大学小白川図書館
1階シアタールーム

作品1 16:20開始(75分上映、25分制作者とのトーク)

「ぼくらの未来」 / 飯塚花笑 監督

ストーリー

性同一性障害の優は男として生きられない辛さを抱えて暮らしている。ある日、優が想いを寄せる女の子、真澄との手紙をクラスの生徒に読まれてしまい、そこから優へのからかい、嫌がらせはエスカレートしてゆく。そしてついに優の恋も実らぬまま終わりを迎えてしまうのだ。優はそんな現実に絶望する一方で幼なじみの悠や良樹。父親とのやり取りを通して全てを受入れて生きていこうと静かに決意する...



映画ワンシーン

作品2 18時開始(5分パフォーマンス上映、25分制作者とのトーク)

「レズビアンフリークスの誕生」 / ヒノヒロコ制作

上映内容

カミングアウトとは、人に知られたくないことを公表するという意味がある。本作品は同性愛者のカミングアウトとはどういうものなのかを嘔吐という決死のパフォーマンスで相手に訴え続けている作品である。作中、真っ白なウェディングドレスの少女たちは、自身のセクシャリティを公にできないまま、望まない結婚をする同性愛者の女性たちを指している。彼女たちに対し、嘔吐という行為をカミングアウトのメタファーとして用い、ドラッグクイーンの様相で怒るヒノの姿を通し、カミングアウトとは、ありのままの自分とは何かを人々に問いかける。



作品



飯塚花笑 プロフィール

1990年生まれ。群馬県前橋市出身。東北芸術工科大学デザイン工学部映像学科卒業。大学在学中は映画監督の根岸吉太郎、前田哲、脚本家の加藤正人に学ぶ。自らの体験を元に制作した処女作『僕らの未来』はぴあフィルムフェスティバル PFF アワード2011にて審査員特別賞を受賞。

国内の映画祭のみならず、バンクーバー国際映画祭、ロンドンレズ&ゲイ映画祭等、国外でも高い評価を受けた。続いて二作目の長編『青し時雨』はあきた十文字映画祭、TAMA NEW WAVE、高崎映画祭等で上映。大学卒業後は1年間映写技師をし、演出部見習いとして廣木隆一監督作『ストロボエッジ』（2015）に参加、また『鏡の中の笑顔たち』（2015）、『風のたより』（2015）の予告編を担当した。現在は、沖縄国際映画祭でプレミア上映を行った監督作、『海へゆく話』（2016）の公開待機中にある。



ヒノヒロコ プロフィール

アーティスト・文筆家
1992年生まれ宮城県出身
東北芸術工科大学大学院修士課程修了

- 2015.2 現在写真家インベカフリ★被写体「ミニスカートがやめられない」
- 2015.4 東京レインボープライドパレードパフォーマンス部門出演
朝日新聞「性的少数者、理解へのアート」掲載
- 2015.8 日本経済新聞「LGBTアート、社会問う」掲載
- 2016.2 朝日新聞「性的少数者の日常、皆さんと比べて」
山形新聞「性的少数者、等身大の姿」
読売新聞「性的少数者「普通」の日常」 掲載
YBCテレビ「news every.」他NHKテレビ内に出演
- 2016.3 東北芸術工科大学大学院修了制作展優秀賞受賞
峰なゆか「おんなくどき飯」出演

申込締切 6/20(月)

託児申込書

FAX・メール・お電話にて受け付けます

お名前	
ご住所	
電話番号	
所属	
託児希望の場合 (※生後6か月～ 就学前の乳幼児)	お子様のお名前： 年齢： 歳 月 日 性別： アレルギーの有無：

電話およびEメールでも受け付けます。
ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他には一切使用しません。



お問合せ／申し込み

ダイバーシティ環境実現に向けて～山形大学3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」～

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室

TEL:023-628-4937・4939 FAX:023-628-4014

E-MAIL: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年6月7日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 第5回学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」を開催します

本学の3つの使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」を発信するため、昨年度から開催している学長特別講演会を今年度も引き続き開催します。今回は、「研究者の知識が地域産業を活性化する～次世代育成からベンチャー創出までを実現するエコシステム～」と題して、株式会社リバネス 丸 幸弘 代表取締役CEOにご講演いただきます。

日時：平成28年7月11日（月）16：30～18：00

会場：小白川キャンパス人文学部1号館301教室

2. 平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」に採択されました

「地域経済を活性化するため地域を牽引している／できる「地域中核企業」を創出し、その成長を支援」することを目的とした経済産業省の平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」に、本学が申請した事業が採択されました。

※詳しくは、6月8日（水）10：30～開催の工学部月例記者懇談会で説明します。

3. 新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会の開催について

新入生の保護者の皆さまが相互に、また、保護者の皆さまと教職員とが親睦や交流を深め、大学運営の実情や本学の教育研究等について理解いただくことを目的に開催しており、今回が8回目です。講演や、授業紹介のほか、学生有志による学生課の斉唱や花笠踊りのアトラクションなども予定しています。

日時：平成28年6月25日（土）13：30～18：00

会場：小白川キャンパス基盤教育2号館2階講義室

対象：平成28年度新入生の保護者

4. 中学生を対象に「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催します

大学で「科研費」（KAKENHI）により行われている最先端の研究成果に、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。今年度本学では6件のプログラムを実施予定です。今回は、工学部担当の教員が開講するプログラムをご案内します。

(1) 3Dプリンタで好きな形の3Dゼリーお菓子作り（古川英光教授）

日時：平成28年7月23日（土）10：00～16：00

場所：米沢駅2階多目的室 駅ファブ

対象：中学生（20名）

締切：7月10日までにお申し込みください（先着順）

(2) 未来の光、有機ELを自分でつくるー有機エレクトロニクスを体感するー（城戸淳二教授）

日時：平成28年8月4日（木）9：30～17：30

場所：有機材料システムフロンティアセンター11号館5階

対象：中学生（18名）

締切：7月18日までにお申し込みください（先着順）

平成28年6月7日
山形大学

平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」に採択されました

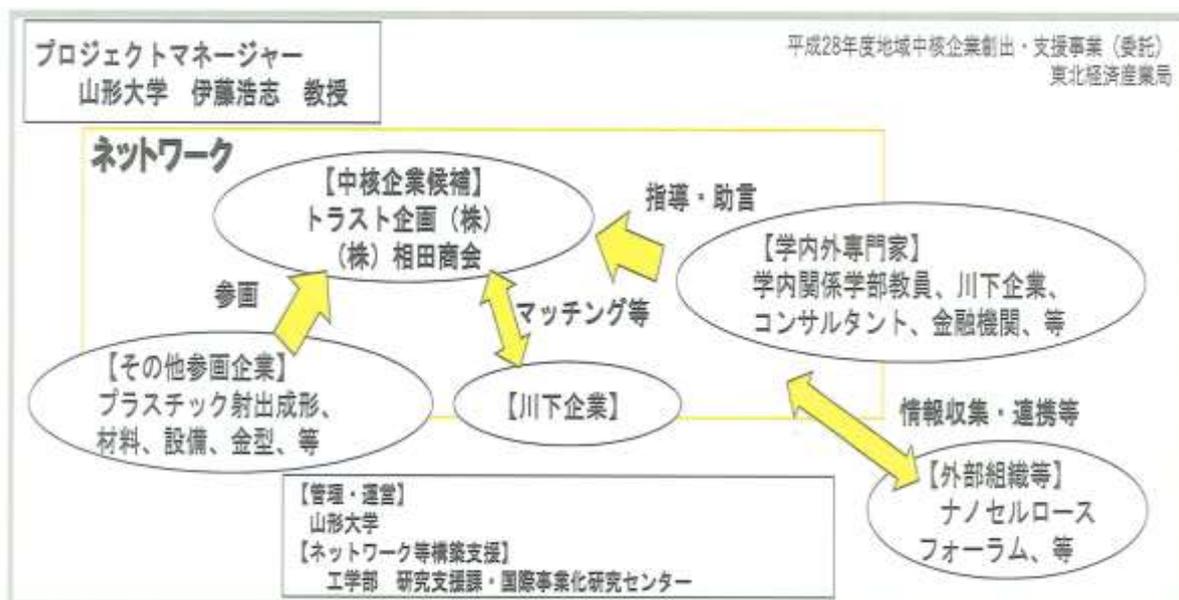
「地域経済を活性化するため地域を牽引している／できる「地域中核企業」を創出し、その成長を支援」することを目的とした経済産業省の平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」に、本学が申請した事業が採択されました。

【事業名】

「プラスチック成形技術の高度化および受注能力向上を目指した次世代射出成形技術ネットワークの構築による新分野進出支援事業」

【事業概要】

革新的なプラスチック成形技術やナノセルロース等の機能性フィラーを活用した薄肉・軽量化を可能とする生産技術の確立を目指すネットワークを構築し、外部専門家とともに総合大学として様々な教職員を活用することにより、自動車産業、福祉産業等これまで採用されていなかった製品に樹脂成形品の新規参入の実現を目指します。



◆参考：東北経済産業ホームページ

平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」の公募について

http://www.tohoku.meti.go.jp/s_sanicle/topics/160330.html

平成28年度「地域中核企業創出・支援事業」の採択結果について

http://www.tohoku.meti.go.jp/s_sanicle/topics/160527.html

お問い合わせ

学術研究院 准教授（有機材料システム研究推進本部）

佐竹義美 TEL：0238-26-3236

新入生保護者の皆さまと 山形大学との交流会

ご入学おめでとうございます。

この交流会は、保護者相互、保護者と教職員との親睦・交流を深めるとともに、保護者の皆さまに大学運営の実情や本学の教育研究内容等について、理解を深めていただき、大学をより身近な存在に感じていただきたいとの思いから開催いたします。

保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

実施概要

平成28年 **6月25日(土)** 開催時間 13:30 ~ 18:00

スケジュール

13:30 ~ 14:00 学長あいさつ、大学概況説明等

14:00 ~ 16:10 講演Ⅰ「基盤教育について」(45分)

基盤教育院 教授 千代 勝実

休憩 (10分)

授業紹介「現役山大新入生による基盤教育科目レポート」(15分)

山形大学エンrollment・マネジメント部 教授 福島 真司

山形大学新入生有志数名が発表します。

講演Ⅱ「地域創生を学び、実践する」(45分)

人文学部 准教授 山本 匡毅

※学生有志による大学歌や学生歌の斉唱と花笠踊りのアトラクションがあります。

16:30 ~ 18:00 懇談会(厚生会館食堂) ※懇談会は軽食と飲み物(アルコール類有)の立食形式で行います。

■ 11:30より学生による、小白川キャンパスを案内する「キャンパスツアー」を行います。

対 象 平成28年度新入生の保護者の方々

申込方法 裏面に記載のとおり、E-mail 又は FAX でお申込み願います。

その他 ① 懇談会は、お一人様 1,500 円の会費とし、当日受付で徴収させていただきます。
② 当日は、学生が普段利用する「山大生協食堂」が13:30頃まで営業しておりますので、ご利用ください。

会 場

山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館2階講義室

お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメントEM企画課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL:023-628-4063・FAX:023-628-4491

E-mail からの問い合わせは、下記アドレス又はバーコードよりどうぞ
enrollment@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



お 申 込 み 書

お申込みは、6月10日(金)までに、E-mail 又はFAXでお願いいたします。
 なお、E-mailの場合は、下記の全項目を入力の上、送信願います。

FAX: 023-628-4491

E-mail: enrollment@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

お名前	ふりがな	住所	〒 -
学生氏名 (学部・学科)	(学部 学科・コース)	電話番号 (連絡先)	- -
同伴者氏名 計()名	ご参加項目 <input checked="" type="checkbox"/>	6月25日(土)に、山形大学へ お越しいただける方法についてお伺いします。	
	<input type="checkbox"/> キャンパスツアー	<input type="checkbox"/> 自動車利用(構内駐車場を利用) ※駐車スペースに限りがありますので、自家用車での ご来場を希望される場合は、 <input type="checkbox"/> 欄にチェック願います。 当日は「臨時駐車許可書」を発行いたします。	
	<input type="checkbox"/> 講演会		
	<input type="checkbox"/> 懇談会	<input type="checkbox"/> 自家用車以外の方法(バス・タクシー・徒歩等)	

※上記情報については、この事業にのみに使用します。

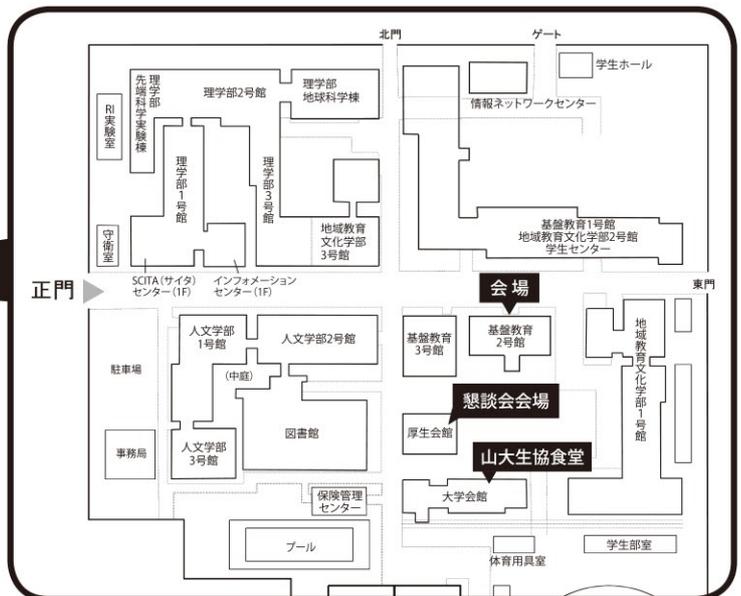
アクセス

山形大学小白川キャンパス

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
 TEL:023-628-4063



小白川キャンパス建物配置図



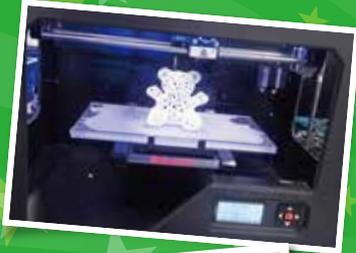
- a) JR山形駅(路線バス) JR山形駅前停留所(4番乗り場)から「山形県庁」行きバスで南高前(山大入口)下車 徒歩7分
- b) JR仙台駅(高速バス) JR仙台駅前から「山交ビルバスターミナル」又は「山形駅前」行き高速バスで、南高前(山大入口)下車 徒歩7分
- c) 自家用車 山形自動車道「山形蔵王IC」から約5km 10分
(構内は駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。)
- d) 徒 歩 JR山形駅から東方へ約2km 徒歩で約25分

小・中・高校生のためのプログラム

ひらめき☆ ときめき サイエンス

～ようこそ大学の研究室へ～

参加
無料



みんなで
オリジナルゼリーを
作っちゃおう!

山形大学 大学院理工学研究科
ふるかわ ひでみつ
古川 英光 教授

3Dプリンタで好きな形の3Dゼリーお菓子作り

最近注目されている3Dプリンタ。聞いたことはあるけど、使ったことがないという人が多いのではないでしょうか。このプログラムでは、3Dプリンタの使い方を学び、実際に体験することが出来ます。最近では食品を材料とする3Dプリンタも登場し、将来的にはいろいろな形の食べ物を作ることが出来るようになるでしょう。プログラムに参加して、3Dプリンタを使った好きな形のゼリー作りに挑戦してみよう!

開催日時 **2016. 7月23日(土)** 10:00～16:00

開催場所 **駅ファブ 米沢駅2階多目的室**
〒992-0027 山形県米沢市駅前一丁目1-43

対象 **中学生(20名)**

申込締切 **2016年7月10日(日)**

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

事業の詳しい内容は
HPからご覧ください

ひらとき

検索



当日のスケジュール

受付を済ませ、10:15までに会場にお集まりください。
※筆記用具、色鉛筆(型のデザイン用)をご持参ください。

10:00～10:15	受付 (米沢駅2階[駅ファブ]集合)
10:15～10:30	開講式 (挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
10:30～11:00	講義①「CADと3Dプリンタの使い方」(講師:川上勝)
11:00～11:20	実習①「作りたいゼリーの形を書いてみよう」
11:30～12:30	実習②「CAD講習会～ゼリーお菓子の型のデザイン～」 (講師:齋藤祥)
12:30～13:00	昼食
13:00～14:00	実習③「3Dプリンタで型を作ろう」(講師:川上勝)
14:00～14:30	お菓子ディスカッション
14:30～15:00	実習④「ゼリーお菓子を作ろう」(講師:小玉麻衣)
15:00～15:30	ゼリーお菓子の品評会 (講師:古川英光)
15:30～16:00	修了式 (未来博士号授与)、アンケート記入

お申込み

■ ホームページから申し込む場合

https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html
※「(1)Webから申し込む場合」の手順に沿って、申し込みをしてください。



■ Eメールで申し込む場合

タイトルを「ひらとき参加希望(3Dプリンタ)」として、下記参加申し込み書の内容を送信してください。
koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

■ FAXで申し込む場合

下記の参加申込書を送付してください。
FAX.0238-26-3401

※参加の可否は後日通知いたします。

お問い合わせ先

山形大学工学部 研究支援課研究支援担当

TEL.0238-26-3004 FAX.0238-26-3401 E-mail. koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加申込書

3D
プリンタ

氏名	ふりがな	生年月日	平成 . . 生	性別	<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
		電話番号	()		
住所	〒				
学校名	学年	ご家族・学校関係者の見学の有無		<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
		保護者の同意(必須)		<input type="checkbox"/> 同意有り	
E-mail					

小・中・高校生のためのプログラム

参加
無料



ひらめき☆ ときめき サイエンス



～ようこぎ大学の研究室へ～

未来の光、有機ELを自分でつくる —有機エレクトロニクスを体感する—

次世代薄型テレビや低消費電力照明として期待されている「有機EL」の原理を、実験を通して楽しく学び、体験できるプログラムです。白色有機ELの開発者、城戸淳二教授による有機ELの講義、続いて実験を行います。昼食はみんなと学生食堂へ。その他、有機ELテレビ、照明、クリーンルームなど、最先端の有機エレクトロニクスの研究現場を見学、後半は有機システム実証実験施設として昨年10月に開設した「スマート未来ハウス」の見学も行います。

学校では勉強できないことを来てくれたみんなに教えちゃうよ!

山形大学 大学院有機材料システム研究科
きど じゅんじ
城戸 淳二 教授



開催日時

2016.8月4日(木) 9:30~17:30

開催場所

有機材料システムフロンティアセンター 11号館 5階
(山形大学工学部キャンパス内 〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16)

対象

中学生(18名)

申込締切

2016年7月18日(月)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。但し、同中学校から多数応募があった場合は、調整させていただく可能性がございます。



事業の詳しい内容はHPからご覧ください

ひらとき

検索

当日のスケジュール

受付を済ませ、10:00までに会場にお集まりください。
※筆記用具、ノートをご持参ください。

9:30 ~ 10:00	受付・開場 (工学部有機材料システムフロンティアセンター 5階集合)
10:00 ~ 10:20	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
10:20 ~ 11:00	講演「未来のエレクトロニクス、有機エレクトロニクスとは」
11:00 ~ 11:10	実験の説明・準備
11:00 ~ 12:00	実験「未来の光、有機ELを作る①」 実験「有機EL照明、テレビを体感する」
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 14:00	実験「未来の光、有機ELを作る②」 実験「有機エレクトロニクスを体感する」
14:00 ~ 14:30	ディスカッション
14:30 ~ 16:20	スマート未来ハウス見学(移動含む)
16:30 ~ 17:00	クッキータイム
17:00 ~ 17:30	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)

お申
参
込
加
み

■ ホームページから申し込む場合

https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html

※[(1)Webから申し込む場合]の手順に沿って、申し込みをしてください。



■ Eメールで申し込む場合

タイトルを「ひらとき参加希望(有機EL)」として、下記参加申し込み書の内容を送信してください。
koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

■ FAXで申し込む場合

下記の参加申込書を送付してください。

FAX.0238-26-3401

※参加の可否は後日通知いたします。

お問い合わせ先

山形大学工学部 研究支援課研究支援担当

TEL.0238-26-3004 FAX.0238-26-3401 E-mail. koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加
申込書

有機
EL

氏名	ふりがな	生年月日	平成 . . 生	性別	<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
		電話番号	()		
住所	〒				
学校名	学年	ご家族・学校関係者の見学の有無		<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
		保護者の同意(必須)		<input type="checkbox"/> 同意有り	
E-mail					